

市民公益活動推進助成金交付申込事業計画書 記入の手引き

この手引きは令和8年度（2026年度）市民公益活動推進助成金交付申込み事業計画書（様式第2号）を記入する際の参考にご活用ください。

1. 申込事業の名称

事業のタイトルとなる部分です。団体名ではなく、実施内容がイメージできるよう簡潔にご記入ください。（文字数は副題を含み30字以内）

2. 申込事業をはじめようとする、または、始めたきっかけや動機をご記入ください。

3. 申込事業の概要

100字以内で概略を記入してください。ホームページにも公開する部分ですので、わかりやすく簡潔に、事業のアピールポイントを盛り込んでください。

4. 申込事業の内容と実施方法

（1）実施内容

【目的】申込事業の実施によって解決したい地域課題・社会課題についてご記入ください。また、課題解決の視点だけでなく、その事業を実施することによってつくり出したい地域社会の姿や状態に関する内容でも結構です。

【対象者・実施場所】できるだけ具体的に記入してください。実施場所について未定の場合であっても、想定されている施設をご記入ください。なお、申込事業の実施にその施設を使用することが可能かどうか、必ず申込前に施設に確認してください。

【具体的な実施内容】年間スケジュールについては、別紙の年間計画書（参考様式）に記載してください。準備期間の内容も含めてご記入ください。なお、団体で別の様式をお持ちの場合はそれを使用していただいて結構です。

（2）申込事業の実施体制

団体組織の役員体制ではなく、実際に申込事業に関わられる方の役割、経歴、活動、専門性等をご記入ください。（団体の役職と、申込事業における役割が一致している場合は、同一人物で結構です。）

（3）自立的・継続的に活動していくための工夫

募集案内の審査項目「自立発展性」を参考にご記入ください。

（4）特にアピールしたい事項

（5）申込事業実施による成果と地域への効果（数値目標等があれば具体的に記入してください）事業を実施することによって地域社会にどのような変化が生まれ、よりよい状態になるか、また、地域社会にどのような影響を与えたいかなど、めざしていることをご記入ください。

（6）申込事業完了後における成果（物）の公開方法

事業実施のチラシやパンフレット、活動内容がわかる写真やSNSでの発信など。

- ① 募集案内に記載の審査基準である、「公益性」「実現可能性」「自立発展性」「先駆性」「地域貢献性」「公開性」の全20項目で採点しますので、これらの視点を意識してご記入ください。
- ② 申込様式の記載について、過去の助成対象事業を参考にご覧ください。
 - ・助成金の申込結果詳細、とよなか夢基金結果レポート、ニュースレターなど
- ※豊中市ホームページ【トップページ>まちづくり・環境>市民公益活動・地域自治>市民公益活動（NPO・協働）>市民公益活動推進助成金制度】
- ③ 過去の申込書類は市政情報コーナー（市役所第二庁舎4階）、コミュニティ政策課（市役所第一庁舎5階）、豊中市立市民公益活動支援センター（庄内コラボセンター1階）で閲覧可能